

会議名		和歌山市行政評価委員会による意見書の提出
開催日時		平成30年10月22日（月） 9：30～10：10
開催場所		市役所本庁舎4階 市長室
出席	委員	足立委員、岩橋委員、奥村委員、片山委員、小山委員、下村委員、山本委員 （五十音順）
	事務局	市長、総務局長、企画部長 行政経営課（課長、班長）、企画課（課長）
審議内容		<p>1 会議次第</p> <p>（1）意見書提出（足立委員長から市長へ提出）</p> <p>（2）足立委員長総評</p> <p>主な内容は以下のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害などのリスク管理に対する新しい視点の対応について、民間企業のBCP（事業継続計画）作成の啓発はもちろん、行政版BCPの作成も求められる。また、災害時に一番不足するのは正確な情報発信である。停電なども想定し、常に市民との情報共有をより一層図ることが求められる。 ・ 施策の目標が「定性的」なものなのか「定量的」なものなのか、また、和歌山市が類似都市（中核市など）と比較してどのような状況で、どの基準を用いればより長期的に理想とされる状態に近づけるのか、等の目標数値の明確化、根拠づけがより一層必要である。 ・ 昨年度の行政評価の際にもプレゼン手法の改善ということで指摘を行ったが、今年度からパワーポイント資料を冒頭部分に付けることで行政業務が俯瞰でき、担当職員の説明もわかりやすかった。さらなる改善としては、プレゼン担当者が全体俯瞰を意識しながら、個別部門の役割にふれながら説明されるとさらによくなるものと思われる。 ・ 地域コミュニティの充実について、これまで以上に市がリーダーシップを発揮して、コミュニティの活動を活性化させていく必要があると感じられたため、今後力を入れて取り組んでいただきたい。 <p>（3）委員感想（意見）</p> <p>主な内容は以下のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域コミュニティにおいて、市とNPO・ボランティア団体との間で情報発信と連携を行っていただきたい。 ・ 循環型社会において、環境問題だけでなく、経済的にも密接に関わっている。環境も経済も循環型社会となっていくよう引き続き目標を目指していただきたい。 ・ 9月の台風の被害もあり、防災に対する関心が高くなってきている。災害があった時に、住民同士の助け合い、自助共助の大切さが重要になってくる。そういったところで、市民と一体となった市政づくりと関係部局との連携を図っていただきたい。

	(4) 市長挨拶
--	----------

平成30年度 和歌山市行政評価委員会